

## オロロジカル・マシン N°1

**イントロダクション**：視覚、技術、感動といった様々なレベルを通じて洗練を極限まで推し進めた時計、それがオロロジカル・マシン N°1 だ。それはマイクロ・エンジニアリングの域にとどまらず、芸術的かつ造形作品でもある。初の三次元マシンを設計し構築することで、MB&F は伝統的な時計製作技術の枠組みを打ち壊し、新しい領域に踏み込んだのである。

HM1 は他の追随を許さぬ独創性を備えた時計である。時間と分は別々の文字盤で示され、中央には 1 分間のトゥールビヨン、7 日巻きパワーリザーブ、そして 4 つのバレル（香箱）を搭載し、自動巻きと手動巻きの両方が可能である。また、独創的なデザインと構造に加え、376 のパーツと 81 石を使った全く新しいムーブメントを備えている。

技術的に最も目を引くムーブメントの要素は、文字盤の中央に配置された 1 分間 1 回転のトゥールビヨンだが、実際 HM1 のデザインと構成を占めているのは、4 つの大きな主要ゼンマイのバレルである。ケースの見まごうことのない量感と、文字盤の幾層もの重なりが、オロロジカル・マシン No.1 の三次元性を余すところなく表現している。

文字盤の深さと複雑性に導かれ斜めに覗き込んでみれば、そこには時間のみならず、もっと多くの魅力に気づかされる。トゥールビヨンのコックから伸びる 1 本のアームは年代物のブレゲの懐中時計を思い起こさせるが、また同時にムーブメント中心部の動きを見ることができる。

**インスピレーションと実現化**：オロロジカル・マシン N°1 の背後には、何人かの重要な人物が佇んでいる。デザイナーのエリック・ジルーはマキシミアン・ブッサーのスケッチを最終的な三次元モデルに落とし込むため何百時間もの時を費やした。ムーブメント技師のローラン・ベッスと独立時計師で<sup>1</sup>AHCI メンバーであるピーター・スピークマリンは、共に型破りなコンセプトチュアル・デザインをマイクロ・メカニカルな現実に至るまで導いた。ムーブメントの外見がまるで未来からやってきたように見えるとしても、この時計の品質と仕上げは、間違いなく最高レベルの伝統的な高級時計と同等であることを、ベッスの技術的背景とスピークマリンの伝統的時計に関する基礎をおりなした作品となっている。

## オロロジカル・マシン N°1

**技術革新**：4 つの大きな主要ゼンマイのバレルをムーブメントの両側に 2 つずつ並行配置して使用することで、MB&F は動力消費を少なくすることに成功し、従って等時性を高め、磨耗を防ぎ、耐久性を高めている。そのすべてが 7 日間という長時間にわたるパワーリザーブを支えている。

---

<sup>1</sup>Academie Horlogere Des Createurs Independants、独立創作時計師協会のこと

# MB&F

バレルはくびれた分割部分を接続するメカニカル・システム上の必要に基づくだけでなく、左の時間は右の分と、計時的にも時間設定上もシンクロしていなければならない。このため、文字盤の下に特大サイズの歯車が必要となった。極度に薄く鏡面仕上げとなっているこの歯車は、二層になっている精度調整の石の間に浮かぶ形で、巧みに支えられている。

中央の1分間1回転のトゥールビオンは、ムーブメント内部で文字盤と同じ高さにセッティングされる。それだけでも、十分複雑な機構である。しかしながらオロロジカル・マシン No.1では三次元構造となっているため、トゥールビオンは持ち上げられ、中央に独自のステージを形作っている。さらにトゥールビオンのケージを左右から離すことで力を等しく分散させてトルクを減少させ、ムーブメントの耐久性を高めている。このことが高度に革新的な開発の賜物なのである。

**構造:** ケースの圧倒的な存在感と幾層にもなった文字盤の双方が、オロロジカル・マシン N°1 の三次元を余すところなく伝えている。HM1 の独特の形状は五感を魅了しつつ、ムーブメントの構造を決定付けている。48 もの個別の要素に加え、HM1 のケースはそのムーブメントにふさわしい複雑性と他に類を見ないデザイン性を兼ね備えている。

HM1 のケースは、すべてのパーツを個別に修理することを可能にするため、モジュール式の構成を実現。

そのデザインは、「海底二万マイル」や「2001年宇宙の旅」といったインスピレーションの世界を表現したものである。

**表示:** 文字盤を見てみよう。左に“時間”、中央に1分間1回転の“トゥールビオン”、そして右の文字盤が“分”を示している。7日巻きパワーリザーブは、分表示の文字盤内の上部層に表示されている。対になっている上層のサファイアクリスタル・ブリッジは、すべての表示をすっきりとクリアに見せているだけでなく、それを支える4つの支柱は精巧なムーブメントをケースに収納するためのコーンを固定する役割をも担っている。

## オロロジカル・マシン N°1 技術仕様

### ムーブメント:

1分間1回転のトゥールビオンを中央に配置することにより、時間と分をレギュレータ的に分離。  
7日巻きパワーリザーブ テンプ振動数 28,800 振動/時  
22K 自動巻きローター (独自のローターデザイン)  
4つの主要ゼンマイのバレルは並行配置  
石数: 81 石  
部品数: 376 パーツ (石を含む)

### 機能:

左の文字盤: 時間表示  
右の文字盤: 分表示および7日巻きパワーリザーブインジケータ付

### ケース:

18K ホワイトゴールド、18K レッドゴールド、もしくはブラック PVD コーティングベースの3種類から選択可能

For further information, please contact:

Estelle Tonelli, MB&F SA, Terrasse Agrippa d'Aubigné 6, P.O. Box 3466, CH-1211 Geneva 3, Switzerland  
Email: et@mbandf.com Tel.: +41 22 786 3618 Fax: +41 22 786 3624

# MB&F

サイズ : 41 mm × 64 mm × 14 mm

部品数 : 48

## サファイアクリスタル:

左右とも文字盤側、両面反射防止加工  
ディスプレイ背部、片面反射防止加工

## 文字盤:

シルバー/ルテニウム (シルバー)、ルテニウム/シルバー (ダークグレイ)、オープン (HM1-ブラックと HM1-RS) の3種類から選択可能  
サファイアクリスタルによる時・分のブリッジ

## ストラップおよび留め金:

ハンドステッチ仕上げのアリゲーターストラップに、18K ゴールド (WG、RG) のカスタム仕様のバックル

## 時計 BOX:

「エトロ」に特注したピンストライプ柄フランネルに革製のキャリーバック付、レザー化粧箱

## オロロジカル・マシン N°1 を創った「フレンズ」たち

コンセプト : マキシミアン・ブッサー / MB&F

製品デザイン : エリック・ジルー / エリック・ジルー・デザイン・スタジオ

技術・製造管理 : セルジュ・クリクノフ / MB&F

ムーブメント開発 : ローラン・ベッス、パトリック・レテノレ・ザルティザン・オルロジェ

ムーブメント・コンサルタント、品質管理 : ピーター・スピークマリン / ザ・ウォッチ・ワーク  
ショップ

ムーブメント製造 : クロード・ブラン、エルヴェ・シュルシュター / ディミエ

ムーブメント部品手仕上げ : ジャック・アドリアン・ロシャ、デニス・ガルシア / CL ロシャ

ケース組み立ておよび製造 : フィリップ・マルティ、ドミニク・メニエ、ベルトラン・ジュ  
ネ / G&F シャトラン

文字盤 : フランソワ・ベルンハルト、デニス・パレル / ネイトバー

針 : ピエール・シリエ、イザベル・シリエ、ギイ・キュリオズ / フィドラー

詳細情報は下記までお問い合わせください:

シャリス・ヤディガログラー (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

Eメール: cy@mbandf.com. 電話: +41 22 508 10 33.

# MB&F

化粧箱： イザベル・ヴォドー／ヴォドー

コミュニケーション：

グラフィック・デザイン： アルバン・トーマス, ジェラルド・ムリエール／GVAスタジオ

製品撮影： マーテン・ファン・デル・エンデ

「フレンズ」撮影： レジス・ゴレ

バーチャルリアリティ画像： デヴィッド・デラリュウ／kdg!

ウェブ開発： ステファン・バレ、ギヨーム・シュミッツ／スモー・インタラクティブ

監修・テキスト： イアン・スケラーン

プロジェクトマネジャー： エステル・トネリ／MB&F

For further information, please contact:

Estelle Tonelli, MB&F SA, Terrasse Agrippa d'Aubigné 6, P.O. Box 3466, CH-1211 Geneva 3, Switzerland  
Email: [et@mbandf.com](mailto:et@mbandf.com) Tel. : +41 22 786 3618 Fax :+41 22 786 3624



## MB&F — コンセプト・ラボの起源

時計部門の責任者としてハリー・ウィンストンに在籍した7年間で、マキシミアン・ブッサーに最高の喜びと達成感を与えてくれたプロジェクトは、才能溢れる独立時計師と共に取り組んだ刺激的なオーパス・シリーズであった。その中ではっきりと見えてきたブッサーの独自の理想郷。それは自身が尊敬し、仕事を共にして楽しかった才能あるプロフェッショナル達と型破りなコンセプトを持つ小規模な腕時計シリーズの設計・制作に専念できる会社の設立であった。企業家としての一面も持つブッサーはその理想郷を現実のものとした。

MB&F は腕時計のブランドではなく、マイクロ・エンジニアリングをコンセプトにした芸術的な研究所であり、斬新なオロロジカル・マシンを設計・制作するために毎年召集される独立した時計のプロ集団である。伝統を重んじながらもそれに縛られることのない MB&F は、伝統的で高品質な時計作りに最先端技術やアバンギャルドな立体彫刻を融合させる媒体となっている。

独立した人たちのために創作する独立した集団。それが MB&F である。

## マキシミアン・ブッサー — バイオグラフィー

イタリアのミラノで生まれたマキシミアン・ブッサーは、その後、間もなくしてスイスのローザンヌへ移り住み、そこで青年時代を過ごす。多文化な環境と家族の中で育ったため—父親はスイスの外交官で、インド国籍の彼の母親とボンベイで出会っている—ブッサーは自身の人生とビジネスに対し異文化的な幅広いアプローチを取るようになった。

2005年7月、38歳の時に世界初となる時計のコンセプトブランド、MB&F(マキシミアン・ブッサー&フレンズ)を設立。設立当初は自身が唯一の株主であったが、現在はセルゲ・クリクノフをパートナーに迎えている。気の合う仲間で構成された少数のハイパークリエイティブなグループで協力し、型破りな時計のコンセプトの開発に専念できる自身のブランド。それが、ブッサーが MB&F に抱く夢である。MB&F は 2006 年に最初の時計、オロロジカル・マシン No.1 (HM1) を発表して以来、2007 年には HM2、そして 2008 年には HM3 を発表しており、現在もより型破りな「マシン」を開発中である。

企業活動はマキシミアン・ブッサーの得意分野である。1998年、彼は弱冠 31 歳でジュネーブにあるハリー・ウィンストン レア・タイムピース社のマネージング・ディレクターに任命された。7年間の任期中、戦略、製品、マーケティング、そして世界規模の流通を開拓すると同時に、デザイン、研究開発、製造を社内で統合し、ハリー・ウィンストンを広く認められた本格的な高級時計ブランドへと成長させた。その結果、売り上げは 900%増加し、ハリー・ウィンストンは競争が厳しいこの業界のリーダーの一員となった。

マキシミアン・ブッサーの最高級時計への愛着は、ハリー・ウィンストンよりも以前に、彼の最初の職場となるジャガー・ルクルトで確立された。1990年代に彼がシニア・マネージメント・チームに在籍し、製品管理・開発からヨーロッパ地域の販売及びマーケティングに至るまでを担当していた7年間で、JLC はその地位を大きく向上させ、売り上げを 10 倍に伸ばした。

詳細情報は下記までお問い合わせください:

シャリス・ヤディガログループ (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

Eメール: cy@mbandf.com. 電話: +41 22 508 10 33.



ブッサーは 1991 年にスイス連邦工科大学ローザンヌ校のマイクロ・テクノロジー・エンジニアリングの修士課程を卒業している。